



# おひざのうえで

(副園長の子育ておうえん通信)(2020年10月)



せんりひじり幼稚園  
副園長 安達かえで

## 「 プロセスの育ち 」

もうすぐ運動会。今年はコロナの影響で学年別で開催しますので、保護者の方に他の学年を見ていただけないのが本当に残念です。子どもたちは14日に全体の開会式やリハーサルをして、ほかの学年の演技を応援します。

そこで、年長組の取り組みを紹介します。まずは、組体操のスペシャルです。組体操の最後に、各クラスで決めたテーマを体で表現する文字通りスペシャルな場面です。

ゆり組は、7月にお祭りで盛り上がったことから「お祭り」を表現しています。威勢よく太鼓をたたき、大きな櫓を組んで盆踊りも始まります。最後は華やかに花火が上がります。

ふじ組は、1学期に工夫した火おこしを表現します。小さな火から炎になって大きく燃え上がる様子を仲間たちで表現します。そよ風が吹いて、台風目になり嵐が吹き荒れて、最後には火が消えて、ゆるやかな煙が上がっていく様子を見事に表現しています。

れんげ組は、「海の旅」がテーマです。さざ波が時間差で押し寄せてくる様子、小さな魚から大きなクジラになっていき、潮を吹いたら虹がかかるという素敵なストーリーを、流れるように表現しています。

すみれ組は、氷を表現します。一人一人が滑ったり凍ったり削れたりする氷の特徴をよくとらえて表現しています。その後、全員で大きなかき氷になり、最後はゆっくり溶けていく様子が圧巻です。

ばら組は、海をテーマに考えました。大きな波が押し寄せて小さな波になっていく様子、雨が降り渦潮の激しさを表現し、雨が上がるときれいな虹がかかり、そして最後にすーっと虹が消えていく様子を心を合わせて表現しています。

クラスみんなで表現することで、一人ではできないダイナミックな迫力が出る様子を、楽しんでいるように感じます。また、虹や火や波や氷が消えていく様子も、特徴をよく捉えていることに驚きます。

映像や写真を何度も見て研究し、動いてみてどう見えるか・・・話し合いを重ねてきました。動き方や位置まで調整し、イメージをすり合わせるために、毎日意見交換をしながら作り上げていきます。もちろん、言い合いなどのぶつかり合いも起こります。みんなで作り上げるために友達を説得したり、気持ちをコントロールしたり、意見を受け入れてもらうための工夫も見られます。組体操で友達を支える場所にいる子は、支える子のことを思い体の位置を調整し、上に乗る子は支えてくれることを信じながら乗って行く。全ての役割の子に学びがあり、そんな関わりの中で豊かに育っています。

また、リレーでは、勝ち負けがはっきりしているため、結果を突き付けられます。クラス全員がバトンでつながるため、全員の力が必要になり、必然的にどうやったら早くなるかをみんなで試行錯誤します。一人一人が少しずつ早くなったら「きっと勝てる」と、秘密の練習をしたり、バトンパスが上手いければ「もっと早くなる」と言う子もいます。何度か走る順番を変えて試したりします。走るのが苦手な子がいたら、その次に走って挽回するから「まかせて」と言ってくれる子もいます。こうやってクラスのひとりひとりのことを、みんながよく理解するようになるのがこの運動会あたりからです。私たちがリレーの取

り組みを通して育てたい力は、勝つことではなく、クラスのみんなで話し合い試行錯誤し、目的に向かってあきらめずにチャレンジする力です。なので、勝ち続けているクラスの担任は、「今日のリレーの練習は負けてほしいなあ」と思うことさえあります。

当日は、そんな運動会までのプロセスを想像しながらご覧くださいね。



(ゆり) 威勢のいい  
祭り太鼓から始まって・・・



(ふじ) そよ風が吹いてきて  
炎が燃え上がり・・・



(れんげ) 鯨が潮を吹いて・・・  
虹がかかります



(すみれ) 巨大かき氷が  
溶けていく～



(ばら) 大きな波が  
次々と押し寄せて・・・